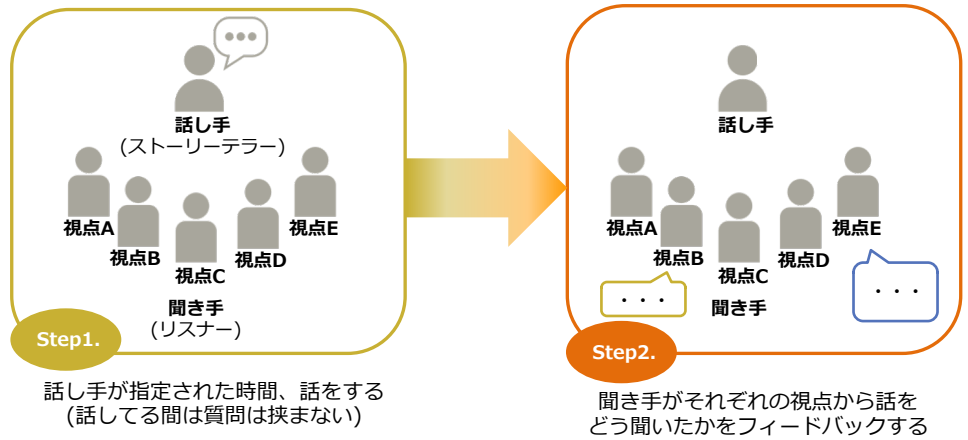


コレクティブストーリーハーベスティングをやってみよう！

コレクティブストーリーハーベスティングとは？

テーマに沿った話し手のストーリーを、それぞれ異なる視点から複数名で聞き、**フィードバックをすることで、話し手のストーリー・経験から集合知的な学びを得る**手法です。

聞き手は、話を聞く前に1人ずつ、問いや聞く時に焦点を当てる視点を持ちます。(例えば、ターニングポイントがどこかを聞く人、相手の大切にしていることは何かに視点を当てて聞く人、話しての表情やエネルギーの上がり下がりによって焦点を当てて聞く人、というように) その後、話を聞き、終わったら今度は聞き手がそれぞれの視点に沿って「どんな風に聞いたか？そしてどう思ったか？」を伝え合います。



どんな狙い・効果があるの？

コレクティブストーリーハーベスティングは、実施することで**個人の経験を集合知的に昇華し、集団の関係性を高める**効果があります。

狙い・効果

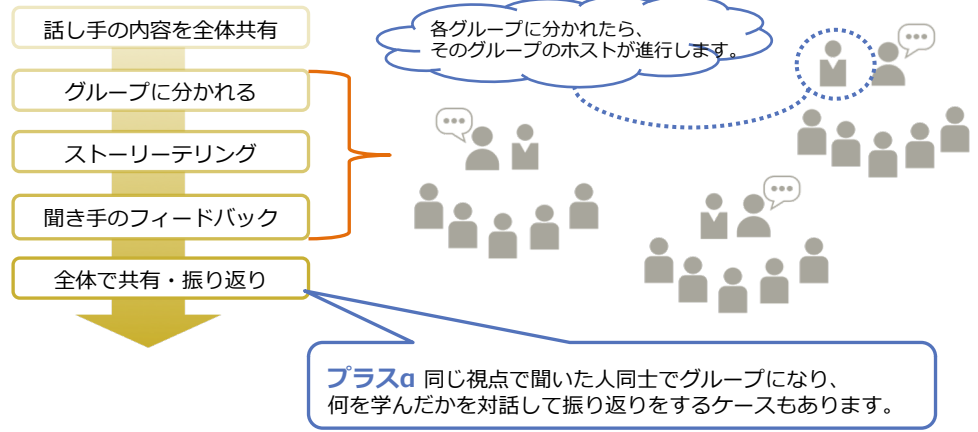
- ✓ 個人の体験を集団の学びに変える
- ✓ 帰属意識の高まりや、関係性の向上
- ✓ グループの特徴や傾向を学ぶ
- ✓ 傾聴や洞察の練習
- ✓ 「教わる」ではない体験的学習
- ✓ 話し手は体験以上の学びを聞き手から得る



経営者や上司、先輩社員の経験をそのチーム、部署の学びの材料にしたい時、チームリーダーのストーリーを元にチームビルディングしたい時、成功・失敗談などの事例から皆で学びあいたい時などに実施すると良いでしょう

開催の流れ

- 事前準備**
 - ・テーマに沿って話し手を決め、事前に依頼をしておきます。(例えば「組織開発」がテーマなら組織開発の実戦経験者何名かに依頼する、など)
 - ・リスナーの問いや視点を複数準備しておきます。
 - ・話し手が複数いる場合は、その人数分、グループホストを決めておきます。(グループホストは、進行ができるようにしておきましょう。)
- 実施**
 - ・全員の前で話し手はどんな話をするかを簡単に伝えます。
 - ・聞き手が話を聞いてみたい話し手のグループに移動します。
 - ・グループホストが聞き手に、準備した問い・視点を教諭して進行しましょう。
 - ・終わったら、全員で「どんなことを学んだか」を対話して振り返りをします。



ホストのポイント

コレクティブストーリーハーベスティングは、話し手が「良いことを話そう」などと意識せず、自由に、思いのままに話すことが大切です。中でも、**体験を思い出しながら、その時の気持ちとともに語ってもらえるか**が最大のポイントです。(起きた出来事をただ羅列したり、話し手の自慢に終始すると機能しなくなります。)

(参考) 聞き手の問い・視点の例

- 話し手の想いや願いは？
- 話し手の大切にしていることは？
- 障害をどのように乗り越えたか？
- ターニングポイントは？
- どんな人や出来事に支えられていた？
- テーマとつけたら？